

講義名	対)就労支援サービス			
担当教員	池山 美代子 / 種田 成則			
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	1	備考
主題と概要				
<p>社会福祉相談援助活動のなかで、障害者や低所得者などへの就労支援の重要性が高まっており、相談援助に携わる者にとっては就労支援に必要な知識の習得は不可欠である。本講義では、障害者や低所得者などを取り巻く社会的現状を理解したうえで、それらの人々の就労支援に必要な各種の就労支援制度の知識を習得すること、就労支援にあたる専門職や支援機関の役割とそれらの連携について理解することによって、社会福祉現場で就労支援相談に応用できるようになることを目指す。</p>				
到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・現代の労働を取り巻く状況と福祉対象者の就労の現状が理解する。 ・支援を必要とする人々への相談援助活動において必要となる各種の就労支援制度についての知識を習得する。 ・就労支援にかかわる組織、団体および専門職の役割についての知識を習得する。 ・就労支援分野の連携について理解する。 ・社会福祉現場での就労支援相談に必要な就労支援サービスに関する知識を習得する。 				
提出課題				
とくに提出課題はない。				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
講義中、出された質問に随時解説する。				
評価の基準				
受講態度と全講義終了後に実施する筆記試験で総合的に評価する。				
履修にあたっての注意・助言他				
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場での相談援助、とくに障害者や低所得者の援助に関心のある学生に受講を推奨する。 ・より理解を深めるためには、日々報道番組の視聴や新聞の購読、インターネットの閲覧等を通して、今日の動向と障害者や低所得者の生活課題をチェックしておくことを推奨する。 				

教科書					
.使用しない。					
プリント資料及び参考文献					
必要に応じて資料を配布する。					
授業計画					
<ol style="list-style-type: none"> 1 就労支援の意義と相談援助者の役割 2 現代の労働を取り巻く状況 3 障害者の就労支援（障害者の就労の現状） 4 障害者の就労支援（障害者の雇用支援施策） 5 低所得者等の就労支援（低所得者等の就労の現状） 6 低所得者等の就労支援（低所得者等の雇用支援施策） 7 就労支援にかかわる専門職の役割と実際 8 就労支援機関の連携と実際 					
授業形態（アクティブ・ラーニング）					
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）					
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間					
<p>日頃から新聞の購読、テレビ等のニュース・報道番組等の視聴、インターネットの閲覧等を通じて、わが国の労働問題や障害者や低所得者の雇用・就労の現状についての基礎知識を身につけておくこと（集中講義のため受講前にトータルで15時間程度）</p> <p>講義後は、配布する資料や自身のメモを基に知識を整理し、理解を深めること（集中講義のため受講後トータルで15時間程度）。</p>					
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
障害者や低所得者への「就労支援」をキーワードとしてその現状や課題、支援制度、相談援助技術などを学び、相談援助活動に関わる者としての知識を身につけている。					
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述					
実務経験の有無及び活用					
備考					
新型コロナウイルスに感染または濃厚接触者に指定され一時的に通学が禁止される学生については、自宅待機などの解除後にレポート提出などにより対応する。					